

会議概要

件 名	第 1 回鹿児島市住生活基本計画策定委員会
日 時	令和 4 年 1 0 月 1 1 日（火） 1 0 時～ 1 2 時 1 0 分
場 所	本館 2 階講堂
出 席 者	鹿児島市住生活基本計画策定委員会委員 1 8 名
市出席者	事務局： 建設局長、建築部長、住宅課長ほか
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 建設局長挨拶 3. 委員紹介 4. 委員長及び委員長代理選出 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 鹿児島市住生活基本計画策定委員会の運営 (2) 住生活基本計画について (3) 検討体制及び検討スケジュール (4) 本市における主な関連施策の実施状況 (5) 本市の住生活を取り巻く現状と課題 (6) 市民意識調査の実施について 6. その他 7. 閉会
主な 決定事項	委員長及び委員長代理選出 [委員長] 古川 恵子氏（鹿児島女子短期大学名誉教授） [委員長代理] 小山 雄資氏（鹿児島大学大学院理工学研究科建築学プログラム准教授）
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住支援のためには建築と福祉の連携が重要であり、福祉部局がどのような住宅の困りごとに対応しているのか、現場の意見も整理しながら、計画に反映してほしい。 ・ 現状と課題で、公共交通機関に触れていない。子育て世帯や高齢者にとって公共交通は大切であり、JRなど民間の交通も含めて、計画への位置付けが必要と思う。 ・ 激甚化する災害として、桜島の大噴火に対する備えも考慮することが必要。 ・ 都市計画との連携の視点から、地域核を形成するために市営住宅の住まい以外の活用方法を検討できたら良いと思う。市営住宅の空き家・応募率や転出入の動向に関するデータを整理してほしい。 ・ 空き家の問題について、付加価値を高める「リノベーション」についても触れてほしい。 ・ 地域別に課題を整理した方が良いのではないか。 ・ 既存の調査でも良いので、地域コミュニティの活動について、現状を整理してほしい。 ・ 居住支援の必要性を把握するため、民間賃貸住宅の現状を整理してほしい。 ・ 急激な人口増により教室が不足する学校もある。学校、保育園、公園（遊び場）などの視点からも検討を行ってほしい。 ・ 地域コミュニティの活動支援を計画に位置付けてはどうか。アンケートで地域活動への参加意欲を聞いても良いかもしれない。 ・ 家賃補助を検討してほしい。